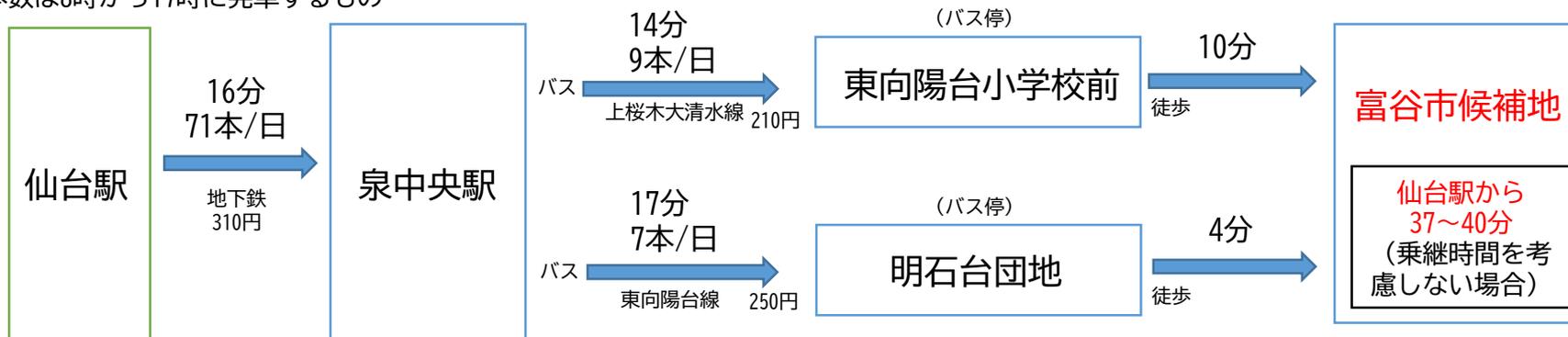


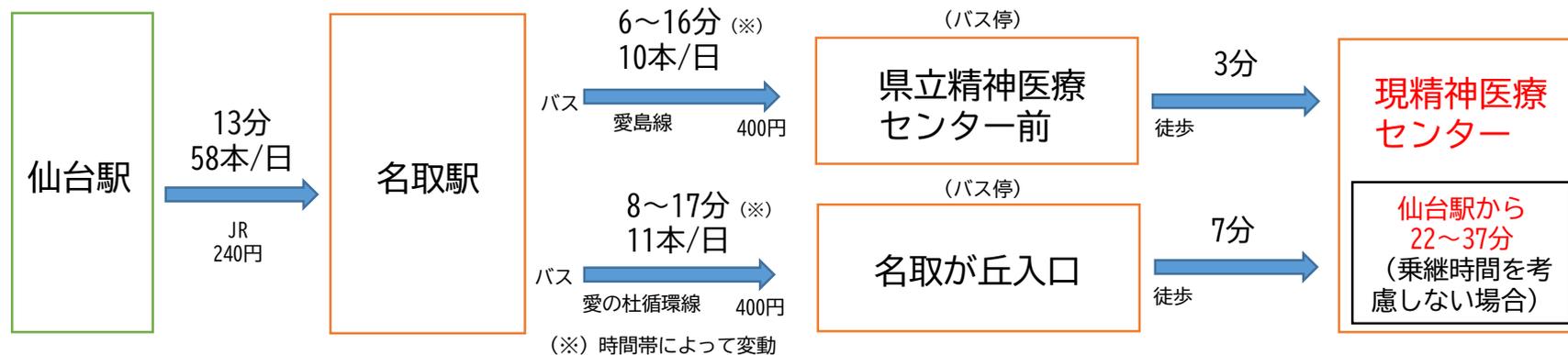
① 県北部から仙台駅を經由して通院する場合

※ 各本数は8時から17時に発車するもの



富谷市は以下のとおり表明している。（令和5年度第5回精神保健福祉審議会「参考資料1」参照）

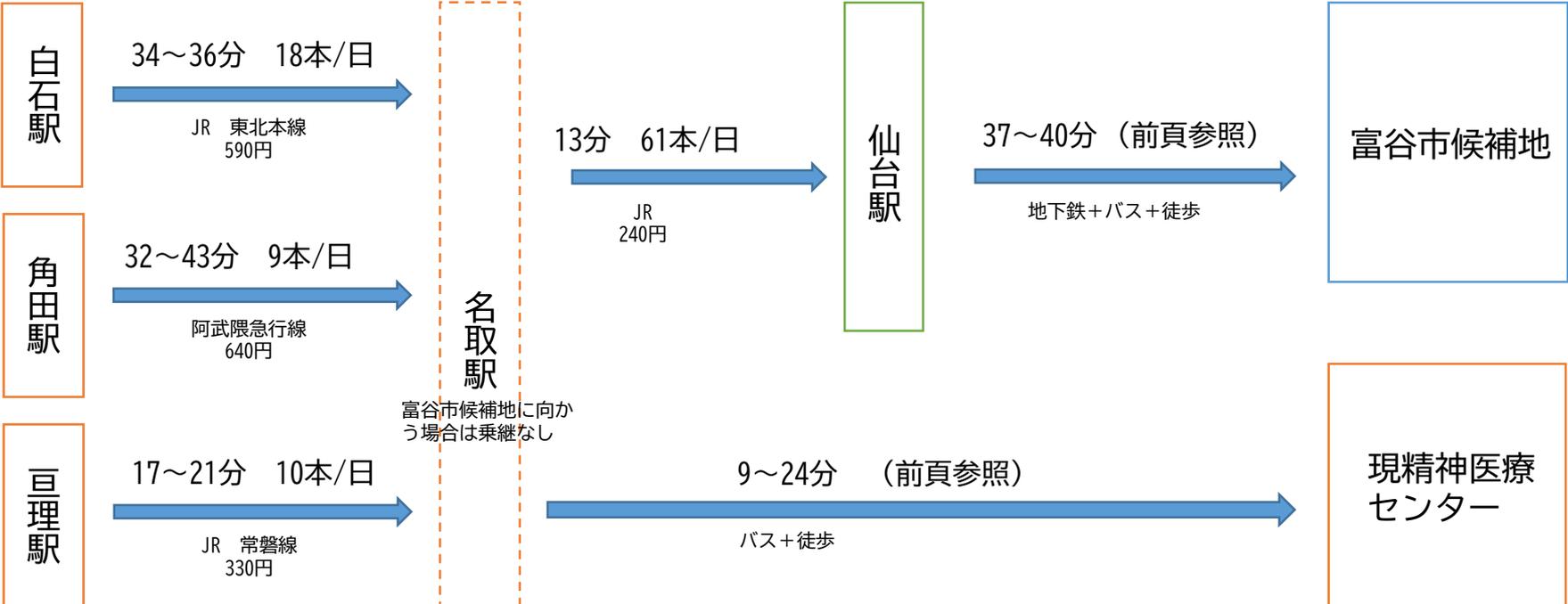
本市では新病院立地後の患者及び病院職員の通院及び通勤の交通アクセス整備として、泉中央駅と新病院間のシャトルバスの運行を予定しているが、バス事業者との連携による仙台駅前と新病院間の直通バス路線の確保などについても検討しているところである。また、新精神医療センターと市内利用者の居宅、グループホームや就労支援事業所等の社会資源とのアクセスについても、市民バスやデマンド交通などを活用し、通院等の利便性を確保してまいりたい。



- 現精神医療センターに通院している患者のうち、主に県北部から公共交通機関で通う方は、仮にセンターが富谷市に移転した場合も仙台駅を經由すると想定している。
- 仙台駅から富谷市候補地及び現精神医療センターへのアクセスは、鉄道・バスの本数においては現時点では大きな違いがない。
- 仙台駅から富谷市候補地及び現精神医療センターへの所要時間は、0分～15分程度の差がある。
- 現精神医療センターに通院している患者のうち、約7割は自家用車で通院しており、電車等公共交通機関を利用している方は2割弱となっている。（令和5年度第5回精神保健福祉審議会「参考資料3」参照）

② 県南部から通院する場合（代表的な駅からの所要時間）

※ 各本数は8時から17時に発車するもの



○現精神医療センターに通院している患者のうち、県南部から公共交通機関で通う方は、仮に精神医療センターが富谷市に移転した場合、名取駅から泉中央駅までの所要時間（29分）に加え、前頁で示したバス移動等の時間差（10分程度）分、通院時間が長くなる。  
 ○また、地下鉄を利用するため、乗り換えが1回増えることとなる。